

このたびは、東芝パーソナルコンピュータ EQUIUM シリーズをお買いあげいただきまことにありがとうございます。

EQUIUM S5000シリーズは高性能・コンパクトを特長とするデスクトップ型コンピュータです。

本書はEQUIUM S5000 シリーズの取り扱い、注意事項などについてまとめた取扱説明書です。

で使用にあたっては、本書をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、一読されたあとも大切に保管し、必要なときにはすぐに取り出せるようにしてください。また、ご購入のモデルによりシステム(OS)が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する 基準を満たしていると判断します。



● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの 瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

(🌑 電波障害自主規制について)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

🌘 高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品 |です。

● レーザー製品の取り扱いについて

- ・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただく ため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管して ください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守 サービスに依頼してください。
- ・本説明書に記載された以外の調整・改造を 行うと、レーザー被爆の原因になりますの で絶対におやめください。
- ・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に 製品を分解しないでください。



● 仕様について



・本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

● 製品寿命について

●本製品の内蔵バッテリの寿命は約3年です。

● モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気 通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定を受けた ものです。



●使用できない地域

内蔵モデムは、日本国内に使用が限定されます。

海外での地域での許認可は受けていないため、海外ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。 上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を 負えませんのであらかじめご了承願います。

●自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信(リダイヤル)は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します(『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください)。

* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準(アナログ電話端末)「自動再発信機能は2回以内(但し、最初の発信から3分以内)」に従っています。



・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。

● 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

●お願い

- ●本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ●本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ●記憶装置(ハードディスク、フロッピーディスク)や、CD-R、CD-RW に記憶された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ●購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーを することは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ●本製品でサポートしているシステム(OS)は次のとおりです。
 - · Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system 日本語版
 - ・Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版 上記以外のシステム (OS) は動作の保証を行なっておりません。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、東芝PCダイヤル(別冊の『東芝PCサービス&サポートのご案内』参照)までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のご愛用者カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

Trademarks

- · Intel、Pentium、LANDeskはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- ・VGA、EGA は米国 International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- ・Microsoft、MS-DOS、Windows、Bookshelf は米国 Microsoft Corporation の 米国およびその他の国における登録商標です。
- · Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- · Adaptec、Easy CD Creator、DirectCD は Adaptec,Inc. の登録商標または商標です。
- ·i.LINK とi.LINK ロゴは商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。



準備する



- ・梱包品を確認する
- ◎ 『付属品チェックリスト』〔1章〕同梱品の確認
- ・本製品を使用するうえでの注意事項を確認する 『安心してお使いいただくために』
- ・設置場所を決める 『☞「1章 3 設置環境|

接続する



- ディスプレイ、キーボード、マウスなどを パソコン本体に接続する
- ・ACアダプタ、電源コードを接続する 『☞ 「1章 6 接続について |

電源を入れる



・ディスプレイ、パソコン本体の電源を入れる 『ディスプレイに付属の説明書』 「2章 1 電源の入れかた」

システムをセットアップする



・Windowsのセットアップをする

『② 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

Windowsの使いかたについては、各システムに
付属の『ファーストステップガイド』または
『クイックスタートガイド』または『Windowsの
ヘルプ』をご覧ください。

ソフトウェアを使う

アプリケーションをインストールする『アプリケーションに付属の説明書』



本書の構成を次に示します。使用目的にあわせて必要なところからお読みください。

1章 電源を入れる前に	本装置をお使いいただく前に知っておいてほしい
(15ページ)	こと、注意などについてまとめています。
2章 電源の入れかたと切りかた (49ページ)	電源の入れかた・切りかた、省電力機能について 説明しています。
3章 システム機能の説明	Windowsを操作するうえで、知っておくと便利
(79ページ)	な機能とその設定方法について説明しています。
4章 機器の拡張について	オプションを取り付ける場合のご注意と取り付け
(89ページ)	方法について説明しています。
5章 BIOSセットアップについて	ハードウェアセットアップの方法について説明し
(125ページ)	ています。
6章 カスタム・リカバリCD/ リカバリCDの使いかた (147ページ)	システムが動かなくなったときの復元方法について説明しています。
7章 困ったときは	「電源が入らない」などの困ったときの対処
(159ページ)	方法について説明しています。
付録 (171ページ)	本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

● 参照マニュアル

- ●本装置で使用するオペレーティングシステム(OS)の説明については、各システム に付属の『ファーストステップガイド』または『クイックスタートガイド』または 『Windows のヘルプ』をご覧ください。
- Intel LANDesk Client Managerの説明については、次の方法でご覧ください。

Windows 98 モデル : Intel LANDesk Client Manager CD-ROM内の

「Readme.doc」を開く

Windows 2000 モデル : アプリケーション CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは

CD-R/RW ドライブにセットし、表示された画面から「LANDesk Client Manager の readme を開く」をク

リックする

- ●ご購入のモデルによって、次のアプリケーションをご用意しています。
 - · Microsoft® Office XP Personal
 - · Easy CD Creator
 - · DirectCD

それぞれの説明については、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をご覧ください。



■記号の意味

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示し

誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示 ています。

🅂 注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害* 1 を負う可能性、または、物的損害*2のみが発生する可能性のあることを示しています。

* 1: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。

*2:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。



・データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



・知っておくと便利なことを説明しています。

☞ 参照先を示しています。

本書内の参照先は「 」で示し、他の説明書の参照先は『 』で示しています。

(注) 補足説明をしています。

● 画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = XXXXXKB

- このように画面上または本文中の文字を X で表している場合 は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで示しています。

 Y キーを押す
 * を押してください。

 1 キーを押す
 * ぬ を押してください。

Space キーを押す...... を押してください。

● 操作の表しかた

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

Yキーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Ctrl + Alt + Delete キーを押す

Ctrl キーと Alt キーを押したまま Delete キーを押します。

() 用語について)

本書では、次の用語について定義します。

システム......特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシス

テム (OS) を示します。

Windows 98 Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating

system 日本語版を示します。

Windows 2000 Microsoft® Windows®2000 Professional operating

system 日本語版を示します。

Windows Windows 98、Windows 2000を示します。

MS-IME Microsoft® IME スタンダード 2002、Microsoft® IMF

2000、Microsoft® IME 98 を示します。

PCI LAN インタフェース ... 特に説明がない場合は、パソコン本体に実装されている

10BASE-T および 100BASE-TX 対応の LAN インタ

フェースを示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

......アプリケーションソフトウェアを示します。

CD-ROM モデル CD-ROM ドライブが内蔵されているモデルを示します。

CD-R/RW モデル CD-R/RW ドライブが内蔵されているモデルを示します。

アプリケーションモデル... Microsoft® Office XP Personal がプレインストールされているモデルを示します。

● 記載について

本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。

●機能と特長

高解像度表示が可能

- ・標準 VGA (640 × 480) の他に SVGA 仕様もサポート
- ·3D グラフィック機能をサポート

● すぐれたシステム性能)

- · Pentium Ⅲ の高性能 CPU を装備
- ・システムメモリに SDRAM を標準装備
- ·SO-DIMM コネクタを2つ(内 1 つは標準メモリで使用)持ち、最大 384MB まで 増設可能
- · Pentium Ⅲモデルは 256kB のセカンドキャッシュを標準装備
- ・Intel LANDesk Client Manager によりハードウェアの障害監視やソフトウェアのリソース管理をサポート (Windows 98 / 2000 対応)
 - I® Windows 98 モデルのインストール方法
 - ば『Intel LANDesk Client Manager』 CD-ROM内の「Readme.doc」
 - III Windows 2000 モデルのインストール方法
 - □ 『アプリケーション CD』 CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットし、表示される画面から「LANDesk Client Manager の readme を開く」をクリックして表示される画面

〔 マルチメディアに対応〕

- ·CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブを標準で内蔵
- ・サウンド機能を標準で装備
- ・ストリーミング SIMD 拡張命令をサポート

(PC カードスロット)

PC Card Standard 準拠、Card Bus 対応の PC カードスロットを 1 つ持ち、TYPE II の PC カードを 1 枚取り付け可能。

● ネットワークに対応

· Ethernet LAN (10BASE-T)、Fast Ethernet LAN (100BASE-TX) に対応

● モデムを内蔵

・ITU-T V.90 および K56flex に準拠したモデムを内蔵

● 使いやすさ

- ・Windows 98またはWindows 2000をインストール済み
- ・洗練されたデザインとイージーメンテナンスを実現

は	じめに	1
作	業の進めかた	4
本	書の構成	5
本	書の読みかた	6
	- C 1912	
Ð	<u> </u>	
1章	電源を入れる前に	15
1	同梱品の確認	16
2	各部の名称と機能	18
	1 本体正面	18
	2 本体背面	
	3 マウス	22
	4 キーボード	24
3	設置環境	28
	1 設置場所について	28
	2 電源について	28
	3 健康のために	28
4	取り扱いについて	30
	1 本体について	30
	2 電源コードについて	
	3 ACアダプタについて	
	4 ハードディスクドライブについて	
_	5 CD-ROM ドライブ/ CD-R/RW ドライブについて	
5	使用上のお願い	36
	1 連続運転について	
	2 日常のお手入れと保管・運搬	
	3 消耗品	
	4 妨害電波・電圧について	
	6 廃棄について	
6		
	1 接続完成図	
	2 接続の順番	
	3 ケーブルカバーの取り付け	
	4 ディスプレイ(別売り)の接続	
	5 マウスの接続	46
	6 キーボードの接続	
	7 電源への接続	47

りもくじ

2章	電源の入れかたと切りかた 49		
1	電源の入れかた	50	
2	初めて電源を入れるときは	51	
	 Windows 98 のセットアップ Windows 2000 のセットアップ ユーザ登録をする 	59	
3	電源の切りかた	68	
	 Windows 98の電源の切りかた Windows 2000の電源の切りかた 		
4	省電力機能について	71	
	 1 省電力機能について	72 73 75	
3章	システム機能の説明	79	
1	日本語入力システム MS-IME について	80	
2	 MS-IME ツールバーの表示	81 82	
	 日本語入力インジケータ 音量インジケータ 日付と時刻の設定 画面インジケータ (Windows 98 モデル) 	83 83	
3	ディスプレイ解像度の変更	84	
1	ドライバのインフ トールについて	86	

4章	1 機器の拡張について		
1	作業を始める前に	90	
2	モデムの接続	92	
	 モジュラーケーブルの接続 内蔵モデム		
3	LAN の接続		
	 適正なケーブルの確認	95 96 97	
4	PC カード	101	
5	USB 対応機器の接続	106	
6	フロッピーディスクドライブ	107	
7	1 3.5型フロッピーディスク 2 フロッピーディスクのセットと取り出し	109	
o	1 プリンタの接続	110	
	i.LINK(IEEE1394)対応機器の接続		
	マイクの接続		
10	スピーカの接続	115	
11	本体カバーの取りはずし/取り付け 1 本体カバーの取りはずし 2 本体カバーを取りはずしたところ	116 117	
19	3 本体力バーの取り付け		
	1 増設メモリの取り付け 2 増設メモリの取りはずし	120 122	
13	内蔵バッテリの交換	123	

5章	BIOS セットアップについて	125	
1	BIOS セットアップとは	126	
	 BIOS セットアップの起動方法 BIOS セットアップの操作方法 BIOS セットアップの内容 	126	
2	BIOS を工場出荷時設定に戻すには	130	
3	Standard CMOS Setupの詳細	131	
4	Advanced CMOS Setupの詳細	133	
5	Power Management Setupの詳細	136	
6	PCI/Plug and Play Setupの詳細	139	
7	Peripheral Setup の詳細	140	
8	Auto-Detect Hard Disks14		
9	Password の設定142		
10	工場出荷時の設定値	144	
6章	カスタム・リカバリ CD/リカバリ CD の使いかた	147	
1	カスタム・リカバリ CD /リカバリ CD とは	148	
	1 カスタム・リカバリ CD とは(Windows 98 モデル) 2 リカバリ CD とは(Windows 2000 モデル)		
2	標準システムを復元する	149	
	 準備 操作手順 		
3	最小構成でシステムを復元する (Windows 98 モデル)	155	
	1 準備2 操作手順		
4	アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル) .	158	
	1 操作手順	158	

7章	困っ	ったときは	159
1	困っ	たときのQ&A	160
付録			171
1	製品	仕様	172
	1 2 3 4 5	仕様概要 外形寸法図メモリマップ I/O マップ 割り込みレベル・DMA チャネル	174 175 175
2	各イ	ンタフェース	
	1 2 3 4 5 6 7	アナログ RGB インタフェース	177 178 179 179
3	エラ	ーメッセージ	181
4	その [.] 1	他の設定	

1

電源を入れる前に

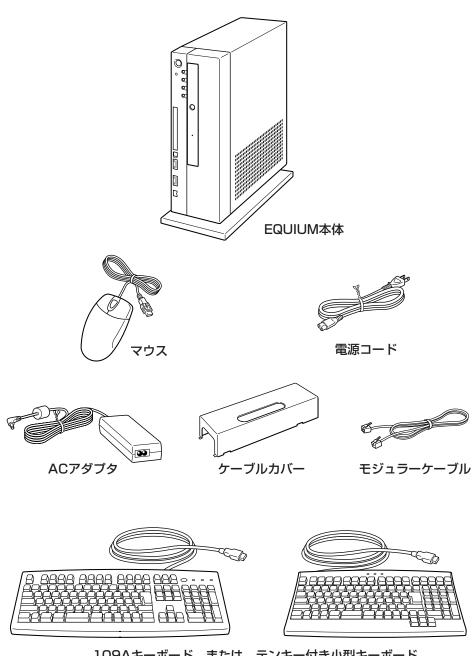
本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

1	同梱品の確認	16
2	各部の名称と機能	18
3	設置環境	28
4	取り扱いについて	30
5	使用上のお願い	36
6	接続について	39

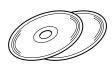
1 同梱品の確認

主な同梱物を次にあげます。添付の『付属品チェックリスト』にて梱包箱の中の付属品 をご確認ください。

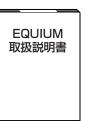
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、東芝営業窓口または、『保守サービスのご 案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまでご連絡ください。



109Aキーボード または テンキー付き小型キーボード *ご購入のモデルによって異なります。



リカバリ用CD-ROMなど 詳細は『付属品チェックリスト』をご覧ください。







その他の説明書、ご案内など

- ・安心してお使いいただくために
- ・保守サービスのご案内
- ・ソフトウェア使用許諾書
- ・付属品チェックリスト
- ・保証書 など

(注) この他にも、同梱物があります。『付属品チェックリスト』をご覧ください。

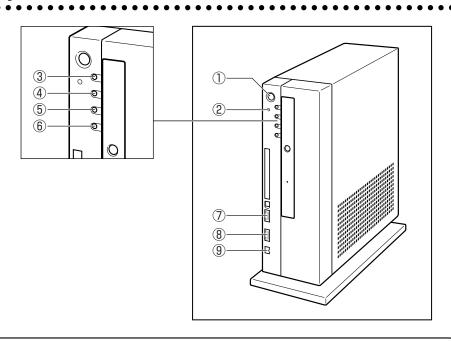


・システムを Windows 98から、Windows 2000 に変更する場合は、同システムの市販品の購入が必要です。本製品に対応のドライバは東芝 PC 総合情報サイト [http://dynabook.com/] に掲載予定です。ただし、対応可能な機能には制限があります。



各部の名称と機能

1 本体正面



 $\overline{\mathbb{A}}$

注 意 ・スイッチ類を強く押し込まないでください。

本体が壊れるおそれがあります。

通常モードから省電力モードへの切り替えおよび省電力モードの解除には、多少時間がかかります(システムの状態によって異なります)。

①電源スイッチ (^l)

パソコン本体の電源を入れるためのスイッチです。電源を入れるときは、電源スイッチを押し、④の電源ランプ M が点灯したことを確認してから離します。

Windows が起動した状態で押すと、省電力モードになったり、省電力モードから復帰したりします。4秒以上押し続けた場合は強制的に電源が切られます。強制的に電源が切られると、作成中のデータは消失します。

『『電源の入れかた/切りかたについて ☆ 「2章 電源の入れかたと切りかた」

②リセットスイッチ RES

電源を入れた直後の初期状態にするスイッチです。先の細いもので押してください。



・システムが操作不能になったとき以外は使用しないでください。

③ DC IN ランプ =>

電源コードを接続しているときに緑色に点灯します。

④電源ランプ 🖳

電源がONのとき緑色に点灯します。

パソコン本体が省電力モードのときは緑色に点滅します。



・電源ランプ 四 が緑色に点滅しているときは電源スイッチを4秒以上押さないでください。このとき、パソコン本体は省電力モードになっています。ディスプレイの画面には何も表示されませんが、実際には電源が入っていますので、電源スイッチを4秒以上押すと強制的に電源が切れ、作成中のデータが消失します。

『愛 省電力モードについて ☆ 「2章 4 省電力機能について」

⑤ HDD アクセスランプ ⊌

ハードディスクドライブの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

⑥ CD アクセスランプ ⑤

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにアクセスしているときに、緑色に点灯します。

⑦ USB コネクタ 1 ◆ ◆

USB 対応機器を接続します。

「4章5 USB対応機器の接続」

⑧ USB コネクタ 2 ◆

USB 対応機器を接続します。

『 「4 章 5 USB 対応機器の接続 |

9 i.LINK (IEEE 1394) コネクタ 🖡

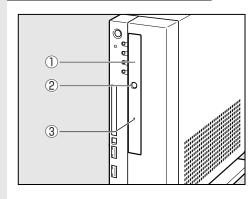
i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続します。

「4章 8 i.LINK (IEEE1394) 対応機器の接続 |

○ CD-ROM ドライブ/ CD-R/RW ドライブ

*内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

ドライブ部分拡大図(本体正面)



①ディスクトレイ

CD をセットする部分です。ディスクの セットや取り出しは、イジェクトボタン で行います。

②イジェクトボタン

ディスクのセットや取り出しのときに押します。

③イジェクトホール

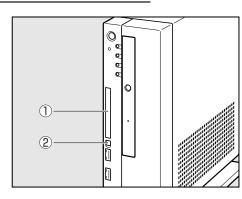
ディスクを強制的に出すときに使用します。 通常は使用しません。

PC カードスロット

PC Card Standard 準拠の TYPE Ⅱ対応のカード(Card Bus 対応カードも含む)を使用できます。

☞ 「4章 4 PC カード」

部分拡大図(本体正面)



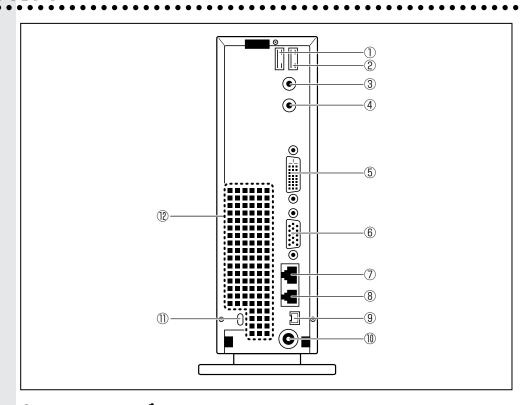
① PC カードスロット

PC カードを挿入します。 あらかじめダミーカードが挿入されてい ます。PC カードを挿入しない場合は、ダ ミーカードを挿入しておきます。

②イジェクトボタン

PC カードの取り付け/取りはずしを行うときに押します。

2 本体背面



① USB コネクタ 3 ◆ ←

USB 対応機器が接続できます。

「4章 5 USB 対応機器の接続」

② USB コネクタ 4 ◆ ←

USB 対応機器が接続できます。

「4章5 USB対応機器の接続」

③マイク端子 🎤

3.5 ø mm モノラルミニジャックタイプのマイクが接続できます(本製品にマイクは 付属していません。パソコン用コンデンサマイクをお買い求めください)。

☞ 「4章 9 マイクの接続」

④ LINE OUT 端子 (())

3.5 ø mm ステレオミニジャックタイプのスピーカが接続できます(本製品にはス ピーカは付属していません。アンプ付きスピーカをお買い求めください)。

№ 「4章 10 スピーカの接続 |

⑤ DVI-D コネクタ **DVI**

DVI 準拠のディスプレイをつなげるためのコネクタです。他社製デジタル RGB ディ スプレイにつなげた場合、正常に表示できない場合があります。

「本章 6-4 ディスプレイ(別売り)の接続 |

⑥アナログ RGB コネクタ □

アナログ RGB ディスプレイを接続します。

☞ 「本章 6-4 ディスプレイ(別売り)の接続|

⑦ LAN コネクタ 呈

LANに接続できます。

「4章3 LANの接続」

⑧モジュラージャック □

モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、モデム機能を使用します。 ☞ 「4章 2 モデムの接続 |

⑨ i.LINK (IEEE 1394) コネクタ ▮

i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続します。

「4章 8 i.LINK (IEEE 1394) 対応機器の接続 |

⑩ DC ジャック ⇔

ACアダプタを接続します。

■ 「本章 6-7 電源への接続 |

(1)セキュリティロックスロット

市販の盗難防止用チェーンロック等を取り付けます。

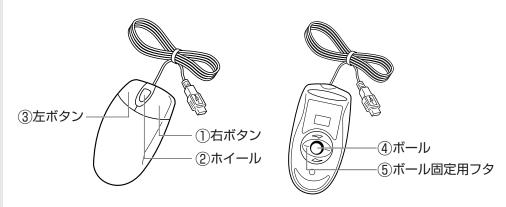
12通風孔

本体内部で発生する熱を放出します。ふさがないでください。

3マウス

Windows は、画面に表示される「アイコン」「ボタン」「メニュー」などをマウスにより操作します。ここでは、マウスの使いかたについて説明します。

マウスは、本装置の電源を初めて入れたときに行う Windows セットアップから使用しますので必ずお読みください。



①右ボタン

操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーを行います(アプリケーションにより、機能が異なります)。

②ホイール

画面のスクロールなどができます(ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます)。

③左ボタン

文字やアイコンを選択することができます(アプリケーションにより、機能が異なります)。

④ボール

マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

⑤ボール固定用フタ

ボールが飛び出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。

● マウスの動かしかた

本装置を起動すると、画面上に矢印 (🎝) が表示されます。これを「マウスポインタ↓ といいます。

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向に合わせて、マウスポインタが画面上を 移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてみてください。 マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所 に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。



- ・マウスは平らな机の上などで使用してください。
 - ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- ・マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動 かすと故障の原因になります。
- ・左ボタン、右ボタンは、ボタンの中央付近を軽く押してください。 強く押すと、ドラッグ時にマウスポインタの動きが鈍くなったり、故障の原因となります。

マウスの操作方法



・マウスのボタンは、ボタンの上に指を置いて押してください。上からたたくように押すと、 故障の原因になります。

●ポイント

画面上のマウスポインタの先端を目的の位置に移動させて置くことをいいます。

●クリック

マウスのボタンを 1 回押して、すぐ離す動作をいいます。特に指定がない場合は左ボ タンを使用します。

●ダブルクリック

マウスのボタンをすばやく2回押して、すぐ離す動作をいいます。特に指定がない場 合は左ボタンを使用します。

●ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを移動させることをいいます。特に指定がない 場合は左ボタンを使用します。また、画面上の「アイコン」などのオブジェクトをド ラッグして、移動先でボタンを離すことを「ドラッグ アンド ドロップ」といいます。

●ホイールを回す

ホイールを前後に回す動作をいいます。



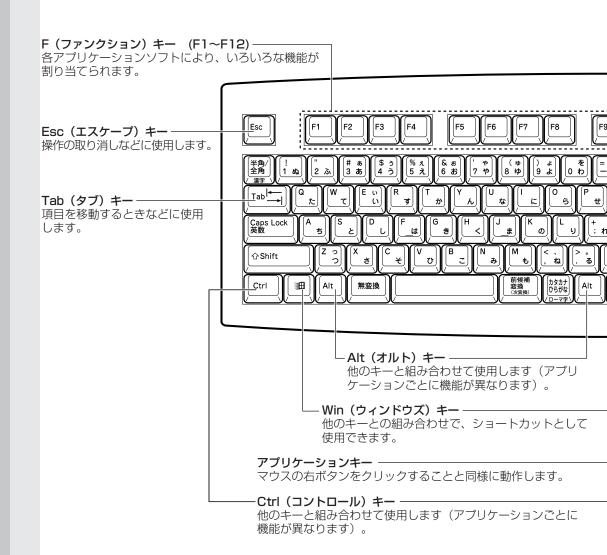
・本書では、マウスの使いかたは、標準設定状態であることを前提として書かれています。

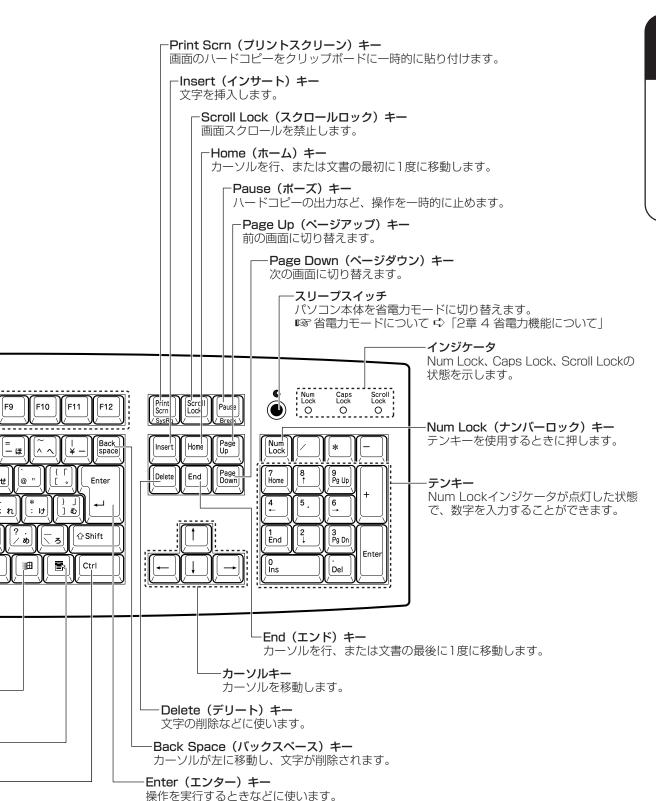
4 キーボード

本装置のキーボードは 109A キーボードまたはテンキー付き小型キーボードです。 *ご購入のモデルによって異なります。

● 109A キーボード

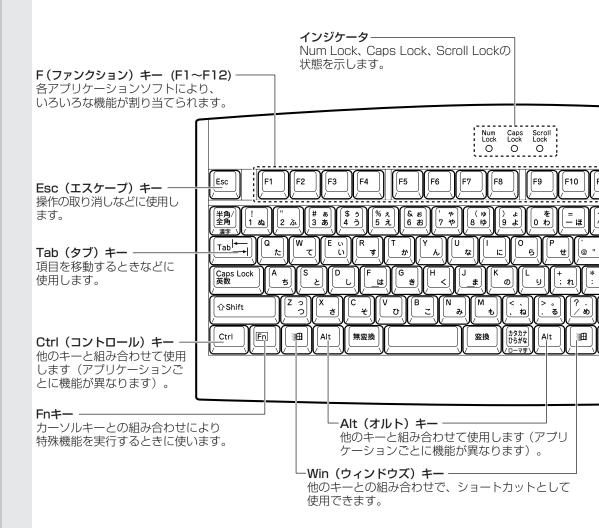
109A キーボードは、106 日本語(A01)キーボード(Ctrl+ 英数)に Windows をより便利に使う Win(ウィンドウズ)キー、アプリケーションキーを追加したキーボードです。





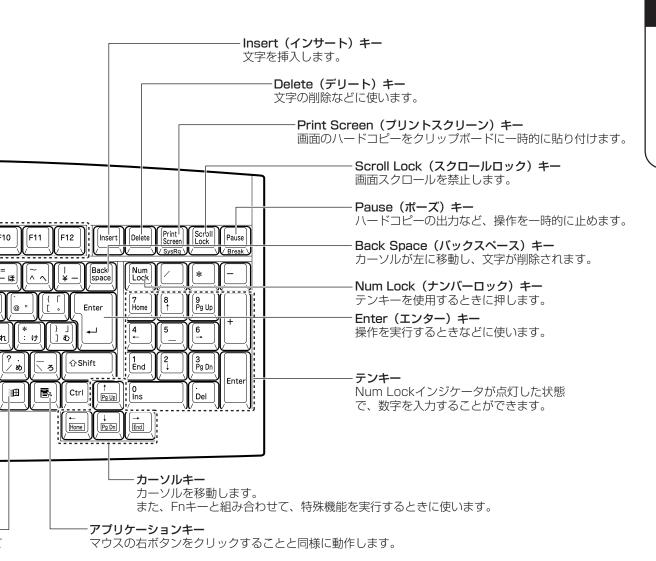
● テンキー付き小型キーボード

テンキー付き小型キーボードは、106日本語(A01)キーボード(Ctrl+ 英数)に Windows をより便利に使う Win(ウィンドウズ)キー、アプリケーションキーを追加したキーボードです。



● Fn キーを使った特殊機能キー

+-	内容	
Fn+PgUp	前の画面に切り替えます。	
Fn+PgDn	次の画面に切り替えます。	
Fn+Home	カーソルを表、または文書の最初に1度に移動します。	
Fn+End	カーソルを行、または文書の最後に1度に移動します。	



27

3 設置環境

1 設置場所について

凹凸のない水平な場所で、十分なスペースを確保できる場所を選んで設置してください。特に通風孔がある面は、少なくとも壁から 10cm 程度離すようにしてください。次の範囲で、急激な温度変化を与えない(結露させない)ようにご使用ください。

温度 10℃~35℃	
湿度	20%~80%Rh

2 電源について

空調機や複写機などの高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

定格電圧	AC100V	(50Hz/60Hz)
消費電力	最大60W	

3 健康のために

● 使用時の姿勢

- ●キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- ●おしりよりも膝が少し高くなるように座る
- ●背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- ●膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る 前に屈んだり、背もたれに寄りかかったりしないでください。



(注) 図はイメージ図です。

● 使用方法

- ●リラックスした姿勢で座る 肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に 置いてください。
- ●適度に姿勢を変える
- ●時々立ち上がってストレッチをする 1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- ●長時間画面を見続けないようにする 15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
- 1 度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる 30分に2~3分とるのが理想的です。
- ●ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを、画面が見やすいように調 節する

☞『ディスプレイに付属の説明書』

●ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する表示画面がホコリなどで汚れると、表示内容が見にくくなります。

取り扱いについて

本体について

・もし、落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコン セントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店またはお 近くの保守サービスに点検を依頼してください。

/ 注意

・本体を転倒させないでください。

衝撃や振動により、本体が故障するおそれがあります。

電源コードについて

電源コードは大切に扱ってください。コードに傷がついたり、電線が露出していると火 災・感電の危険があります。次のことを必ず守ってください。



- ・付属の電源コードでは、AC100 V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを 差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。 感雷、火災、やけどのおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり しないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。
- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜い てください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあり
- ・ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。

・熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。



- コードを結ばないでください。

3 AC アダプタについて



・必ず本体付属のACアダプタを使用してください。 本体付属以外の AC アダプタをご使用になりますと、発煙、火災のおそれがあります。



- · AC アダプタは、温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。 あとがつくことがあります。
- ・通電中、ACアダプタの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。 移動するときは、電源コードを抜き、温度が下がってから行なってください。
- ・AC アダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてくだ さい。

- ドディスクドライブについて



・電源が入っている状態で本体に衝撃、振動を与えないでください。HDDアクセスランプ ⊌ が消灯していてもハードディスクドライブのヘッドはデータエリアにあります。



・パソコン本体の電源を切るとハードディスクドライブのヘッドが自動的に退避されます。ただ しハードディスクドライブが停止するまでには、約30秒かかります。電源を切って30秒以上 経過してから本体を移動してください。衝撃によってデータエリアを破壊するおそれがあります。

5) CD-ROM ドライブ/CD-R/RW ドライブについて

*内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

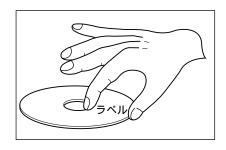


- ・CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CDアクセスランプ 🖘 が点灯中は、イジェクトボタンは押さないでください。故障の原因 となる場合があります。
- ・CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブを使用しないときは、必ず CD を取り出して おいてください。
- ・外側を切り欠いた CD など正常な円形ではない CD や、変形した CD、かたよった位置にラ ベルを貼った CD は使用しないでください。異常振動の発生や故障の原因となります。
- ・市販のレンズクリーナは使用しないでください。CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドラ イブの故障の原因となります。

CD の取り扱い

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データ を保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD を読み込むことがで きなくなります。
- CD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かない でください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CD は専用のケースに入れ、保管してください。
- CD を持つときは、外側の溝か、中央の穴の ところを持つようにしてください。表面に指 紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取 れなくなることがあります。



- CD の表面に文字などを書かないでください。
- CD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってくだ さい。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に 拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿 らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

使用できる CD

読み込みできるCDは次の種類です。

①音楽用 CD

8cm、12cm の音楽用 CD が聴けます。

- ②フォトCD
- ③ CD-ROM

使用するシステムに適合する ISO9660 フォーマットのもの

- ④ CD エクストラ
- ⑤ CD-R
- (6) CD-RW



- ·ISO9660 フォーマットとは、パソコンのシステム(OS)や機種が異なっていても共通に利用することができる CD-ROM のフォーマットであり、ISO(国際標準化機構)が 1988年に定めました。
- ·CD の特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

また、CD-R/RWモデルで書き込みできるCDは、次の種類です。

- ① CD-R (書き込みは 1 回限り)
- ② CD-RW

● CD-R / CD-RW に書き込む

CD-R/RW モデルの場合、CD-R / CD-RW にデータを書き込むことができます。 書き込みを行うためのアプリケーションとして、Adaptec 社製「DirectCD」「Easy CD Creator」をご用意しています。

ご使用の際はインストールしてください。

№ インストールについて 🖒 「付録 4-1 CD-R/RW モデルー

CD-R / CD-RW に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。

守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。

本機に搭載している CD-R/RW ドライブには書き込みエラーを防ぐバッファーアンダーランエラー防止機能を内蔵していますが、電源切断やドライブへのショックなどの本体異常や、記録メディアの状態によっては、処理が正常に行えず、エラーとなる場合があります。

書き込みに失敗した CD-R の損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD-R / CD-RW に保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



· CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できません。 なお、CD-RW はフォーマットすると再利用できます。

●書き込む前に

● CD-R は CD-R/RW ドライブの書き込み速度に対応しているものをご使用ください。 本装置では、次のメーカの CD-R の動作確認を行なっています。

太陽誘電(株)、TDK(株)、三井化学(株)、三菱化学(株)、 リコー(株)、日立マクセル(株)、富士写真フイルム(株)、ソニー(株) 上記以外のメーカの CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。

● CD-RW には2倍速対応、1倍速~4倍速対応、そして4倍速~10倍速対応の High Speed CD-RW があります。メディアの対応速度に合わせた速度で書き込みを 行なってください。

本装置では、次のメーカの CD-RW の動作確認を行なっています。

CD-RW : 三菱化学 (株)、リコー (株)

High Speed CD-RW : 三菱化学 (株)、リコー (株)

上記以外のメーカの CD-RW をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。

- ●スクリーンセーバなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ●ウィルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- ●常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティ などは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすす めします。
- LAN を経由しての書き込みは行わないでください。LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクドライブに保存してから書き込みを行なってください。
- 「DirectCD」 「Easy CD Creator」以外の CD-R / CD-RW 書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
- ●書き込みを行なう際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。 『③ 省電力機能について □ [2 章 4 省電力機能について]
- ●書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。

● 書き込みを行うときは)

- ●マウスを動かす、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- ●モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
- ●パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- ●次の機器の取り付け/取りはずしを行わないでください。 PCカード、USB対応機器、ディスプレイ、i.LINK(IEEE1394)対応機器
- ●重要なデータについては、必ずデータ書き込み終了後に、データが正しく書き込まれたことを確認してください。

● 「Easy CD Creator」の設定)

「Easy CD Creator」を使用して重要なデータを書き込む場合は、メニューバーから [ファイル] - [CD レイアウトプロパティ] をクリックし、[書き込み後 CD 上のファイルを検証する] を設定してください。

正常に書き込まれていることを確認できます。

書き込み終了後、CD-R/RW ドライブのディスクトレイが開き「CD レコーダにターゲット CD を投入してください」とメッセージが表示される場合があります。その場合は、そのままディスクトレイを閉めて[OK]ボタンをクリックしてください。 検証を開始します。

書き込みについての詳細は、「Easy CD Creator」または「DirectCD」のヘルプおよび『クイックリファレンス』をご覧ください。

● CD のセットと取り出し



- ・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。CDのデータや CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・長時間 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブを使用した直後に CD を取り出す場合は、ディスクトレイの金属部分に触れないでください。ディスクトレイの金属部分が熱くなっている場合があります。



・CD のセットと取り出しは、電源 ON 時に行なってください。電源 OFF 時にイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイの出し入れはできません。また、イジェクトボタンは、CD アクセスランプ ◆ が消灯している状態で押してください。

故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトホールを先の細い、丈夫なもの(例えばクリップを伸ばしたもの)で押してください。ディスクトレイが出てきます。

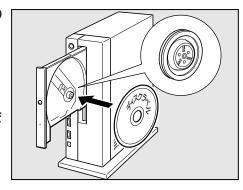
(OCDのセット)

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブへ CD をセットするには、次のように行います。

- **1** CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押すディスクトレイが出てきます。
- **2** ディスクトレイを引き出す CDをのせる面がすべて出るまで引き出します。
- **3** CD ディスクラベルを手前にして、穴の 部分をディスクトレイ中央部分に合わ せ、セットする

CD をセットするときは、ディスクトレイを強く 押しすぎないでください。

4 ディスクトレイを CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブに押し戻すディスクトレイが格納されます。



ODの取り出し)

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブから CD を取り出すには次のように行い ます。

- 1 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押す ディスクトレイが出てきます。
- 2 ディスクトレイを引き出す CDをのせる面がすべて出るまで、引き出します。
- 3 CDの両端をそっと持ち、手前に引いて取り出す ディスクトレイから CD を取り出します。CD が取り出しにくいときは、中央の凸部分を少 し押してください。楽に取り出せるようになります。 ディスクトレイを強く押しすぎないでください。
- 4 ディスクトレイを CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブに押し戻す

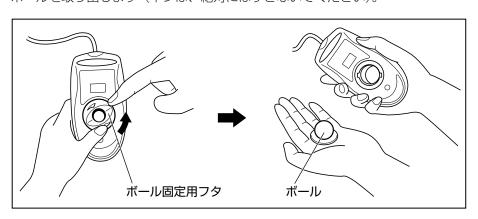
⑤ 使用上のお願い

1 連続運転について

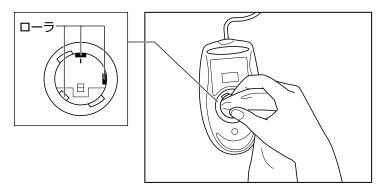
長時間の(24時間を超えるような)連続運転をしないでください。 パソコン本体を使わないときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。 長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

② 日常のお手入れと保管・運搬

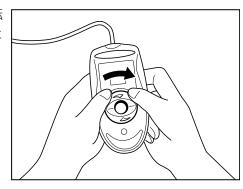
- ●本体の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水を含ませた布で軽く拭き取ってください(ディスプレイ表示画面を除く)。
- ●ベンジンやシンナー、その他の薬品類を使うと変形または変色することがあります。 また殺虫剤などをかけないようにしてください。
- ●梱包箱を保管しておくと輸送などに使用でき便利です。
- ●移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
- CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブは、市販のクリーナを使用しないでください。
- ●電源ケーブルのプラグを長期間 AC コンセントに接続したままにすると、プラグやコンセントにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。
- ●キーボードのキーの下やすきまに入ったほこりやゴミなどは、掃除機などで吸い出してください。
- ●マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を 妨げ、動作不良の原因となることがあります。 マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。
 - ①パソコン本体の電源を切ってください。
 - ②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します(ネジは、絶対にはずさないでください)。



③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



- ④ボールを、水で洗います(中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます)。
- ⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。
- ⑥ボール固定用のフタを、矢印方向に回転 させて取り付けます。フタは、カチッと 音がするまで回転させてください。





・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

3 消耗品

内蔵バッテリの寿命は約3年です。交換の際は、市販のCR2032のリチウム電池を使用してください。

☞ 「4章 13 内蔵バッテリの交換」

4 妨害電波・電圧について

本装置は VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会) 基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

- ●テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
- ●テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
- ●テレビ、ラジオから離す。
- ●テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
- ●受信機に屋外アンテナを使う。
- ●平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
- ●コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、お近くのサービスステーションへご相談ください。

VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

5 修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまたはお買いあげの販売店にご相談ください。

6 廃棄について

本装置には、リチウム電池を使用しています。リチウム電池の廃棄については、地方自 治体の条例、または規則に従ってください。

また、本体を廃棄する場合も同様に地方自治体の条例、または規則に従ってください。



接続について

ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

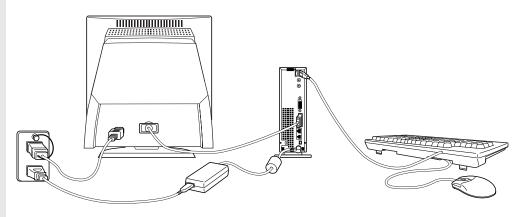
- ●本体および接続する機器の電源を切るか、または電源スイッチを OFF にする
- ●ケーブル類の取り付け/取りはずしは、必ずコネクタを持って行う
- ●コネクタの形状に注意して挿入し、コネクタに固定ネジがある場合はしっかりと固定 する
- ●次のものは、システムのセットアップが終了してから接続する
 - ・モジュラーケーブル
 - · LAN ケーブル
 - ・増設メモリ
 - ・プリンタなどの周辺機器
 - 「2章 2 初めて電源を入れるときは」
 - 『『マージュラーケーブル、LAN ケーブル、増設メモリ、周辺機器の接続について 「4章機器の拡張について」



・ケーブル類を本体に接続した状態で、ケーブル類に負荷(無理に引っ張るなど)をかけないでください。ケーブル類の破損および、本体の故障の原因となります。

1 接続完成図

EQUIUM を接続した例を次に示します。



(注) EQUIUM にディスプレイは同梱されておりません。

2 接続の順番

付属品を接続する場合は、次に示されている順番に従って、接続を行なってください。



本装置の付属品を取りはずす場合は、本体の電源を切った後、それぞれの取りはずし方法に従って取りはずしてください。取りはずす際は、最初に電源コードを取りはずしてください。その後の順番は関係ありません。

3 ケーブルカバーの取り付け

本装置にはケーブルカバーが付属されています。

ケーブルカバーを取り付けることにより、本体背面に接続したケーブル類をすっきりと まとめることができます。

ケーブルカバーの取り付けは、その他の付属品を本体に接続しながら行います。 ここでは、ケーブルカバーの取り付け手順のみを説明します。

● 取り付け方法

*イラストはデジタル RGB 信号ケーブルの場合です。

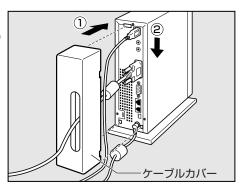
1 ディスプレイを接続するとき、RGB ケーブルまたはデジタル RGB 信号 ケーブルをケーブルカバーの穴に通す

☞ 「本節 4 ディスプレイ(別売り)の接続|

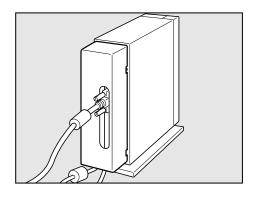
2 +-ボードのケーブルと AC アダプタのケーブルをケーブルカバーの下から出す

☞「本節 7 電源への接続」

3 パソコン本体の溝にケーブルカバーのツ メを合わせ①、下に引いて取り付ける②



● 取り付け完成図



4 ディスプレイ(別売り)の接続

接続の際は『ディスプレイに付属の説明書』をご覧のうえ、作業を行なってください。ディスプレイは必ず接続してください。



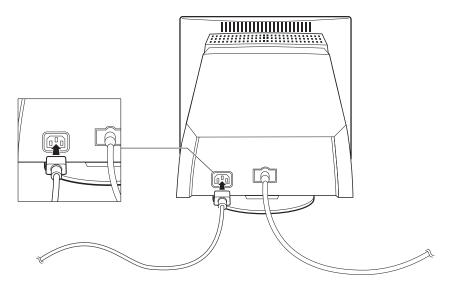
- ・電源コードは、必ず付属の電源コードをお使いください。 市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
- ・電源コードのプラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。万一漏電した場合の感電を防止します。
- ・電源コードを接続する場合は、(1)アース線、(2)プラグの順に行なってください。

● アナログ RGB ディスプレイの接続

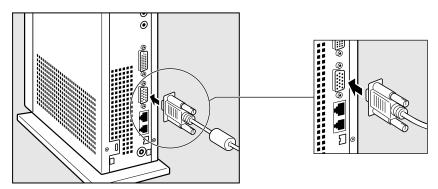
ここでは別売りの 15型カラーディスプレイ B(PVCRT15B)を例に取り付け/取りはずし方法を説明します。

● 取り付け

- 1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 電源コードをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む

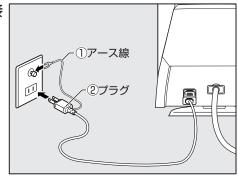


3 RGB ケーブルコネクタを本体背面のアナログ RGB コネクタ □ に接続し、固定用ネジを手で回して固定する





- ・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが 破損するおそれがあります。
- 4 電源コードのアース線をアース端子に接続する①
- 5 電源コードのプラグを電源コンセント (AC100V)に差し込む②



 \triangle

注意 ·AC100V以外のコンセントには差し込まないでください。

(取りはずし)

RGB ケーブル、電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線の順に行なってください。

注意・RGBケーブルを本体から取りはずす場合は、RGBケーブルコネクタの固定用ネジを 手でゆるめ、固定用ネジがアナログ RGB コネクタから完全にはずれた状態で行なっ てください。

固定用ネジがアナログ RGB コネクタに接続された状態で、RGB ケーブルに負荷(無理に引っ張るなど)をかけると、RGB ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

● デジタル RGB ディスプレイの接続

ここでは別売りの 15型フラットパネルディスプレイ J(PVLCD15K)を例に取り付け/取りはずし方法を説明します。

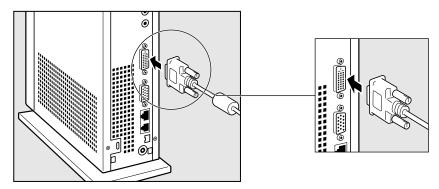
ディスプレイ側のコネクタ、ケーブルの接続については『ディスプレイに付属の説明書』をご覧ください。



・デジタル RGB ディスプレイをご使用の場合の最大解像度は 1280 × 1024 となります。

● 取り付け

- 1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する
- **2** ディスプレイに付属の AC アダプタのプラグをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む
- 3 ACアダプタと電源コードを取り付ける
- **4** デジタル RGB 信号ケーブルコネクタを本体背面の DVI-D コネクタ *DVI* に接続し、固定用ネジを手で回して固定する





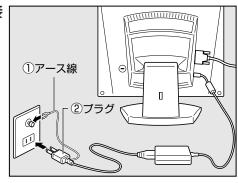
- ・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが 破損するおそれがあります。
- 5 ディスプレイに付属のオーディオケーブルをディスプレイ背面のオーディオ 端子と本体背面の LINE OUT 端子((***)) に接続する



・ディスプレイの機種によっては、オーディオケーブルが付属しない場合があります。 この場合は、別売りのオーディオケーブルを使用する、またはパソコン本体背面の LINE OUT 端子にスピーカを接続してください。

ディスプレイの機種によっては、オーディオ端子がない場合があります。 この場合は、パソコン本体背面の LINE OUT 端子にスピーカを接続してください。 ☞ 詳細について ♀ 『ディスプレイに付属の説明書』

- 6 電源コードのアース線をアース端子に接 続する①
- 電源コードのプラグを電源コンセント (AC100V)に差し込む②





注意 ・AC100V 以外のコンセントには差し込まないでください。

● 取りはずし

デジタル RGB 信号ケーブル、オーディオケーブル、AC アダプタを、ディスプレイか ら取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取 り付けと逆の手順を行なってください。

電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線、(3)ACアダプタの順に行なっ てください。

注意 注意 ・デジタル RGB 信号ケーブルを本体から取りはずす場合は、デジタル RGB 信号ケー ブルコネクタの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジが DVI-D コネクタから完全には ずれた状態で行なってください。

> 固定用ネジが DVI-D コネクタに接続された状態で、デジタル RGB 信号ケーブルに負 荷(無理に引っ張るなど)をかけると、デジタル RGB 信号ケーブルの破損、および、 本体の故障の原因となります。

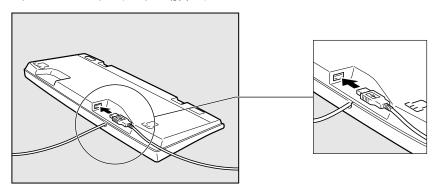
5 マウスの接続

- ↑ 注 意 ・マウスの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。
 - ・キーボードのUSBコネクタは、本製品に付属のマウス以外は接続できません。
 - 1 本体の電源が切断されていることを確認する
 - **2** キーボードを裏返す
- **3** マウスのプラグを USB コネクタ ← に差し込む

プラグに刻印されている USB アイコン ◆← を上側にして、しっかりと奥まで差し込ん でください。



- ・109A キーボードの場合、USB コネクタは 2 つ用意されていますので、いずれかの USB コネクタを使用してください。
- *イラストは、109A キーボードの場合です。

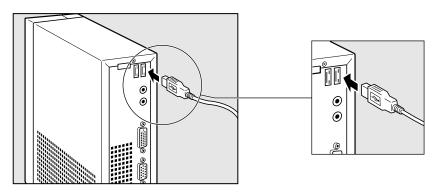


6 キーボードの接続

- ・キーボードの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。
 - 1 本体の電源が切断されていることを確認する
 - **2** キーボードのプラグを USB コネクタ ◆ に差し込む

プラグに印刷されている USB アイコン 🕀 を左にして、しっかりと奥まで差し込んでくだ さい。

*イラストは、本体背面のUSBコネクタ4に接続する場合です。

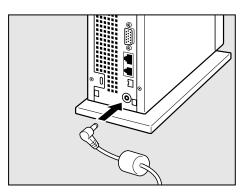


7 電源への接続

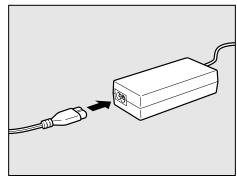


・電源への接続は、最後に行なってください。

- 1 ディスプレイの電源スイッチが切断されていることを確認する
- **2** AC アダプタのプラグを本体背面の DC ジャックに差し込む



3 AC アダプタと電源コードを取り付ける



4 電源コードを電源コンセントに接続する

電源コードを接続したら、DC IN ランプ → が緑色に点灯することを確認してください。 電源からはずすときは、電源コード→AC アダプタの順で行なってください。